

JICA関西-同志社大学 JICA海外協力隊派遣に向けた連携覚書を締結

インドのラグビー普及に向けて
同志社大学ラグビー部の学生・卒業生をJICA海外協力隊として、
インドに派遣！

同志社大学とJICA関西は、3月29日(金)、インドにおけるラグビーの発展とそれを通じた青少年の健全育成を目指し、JICA海外協力隊派遣に関する大学連携事業の覚書を締結します。

【署名式】

日時：2019年3月29日(金) 14:00～

場所：同志社大学(京田辺キャンパス) 嗣業館 2階 広報室

署名者：《同志社大学》 学生支援センター 所長 上田 雅弘 氏

体育会ラグビー部 部長 沖田 行司 氏

《JICA関西》 所長 西野 恭子

1. 同志社大学との連携

(1) 連携について

独立行政法人国際協力機構(JICA)と公益財団法人日本ラグビーフットボール協会(JRFU)は、アジアにおけるラグビー普及促進に向けて、2013年に「JICA-JRFUスクラムプロジェクト」を開始し、ラグビーを指導するJICA海外協力隊をインド、インドネシア、スリランカ等のアジア諸国へ派遣しています。

今回、新たに同志社大学との連携により、JRFUの協力のもと、同大学ラグビー部の学生(又は卒業生)をJICA海外協力隊としてインドへ派遣し、インドラグビー協会が取り組む、大学ラグビー強化を通じたラグビーの競技力向上、ラグビーの普及、それらを通じた青少年の健全育成を支援することとなりました。

同志社大学ラグビー部は、1911年創部と、日本の大学で3番目に長い歴史を誇り、1982年度から大学選手権で三連覇を果たすなど「関西の雄」として、また伝統校として日本ラグビー界をリードしてきました。加えて、故・平尾誠二氏をはじめとする優秀なラグビー指導者を多数輩出しており、自主・自立を重んじた指導による質の高い人材育成を行っています。

インドのラグビーは、世界ランクが105ヶ国中82位と、まだ発展途上にありますが、JICAは同志社大学ラグビー部とタッグを組んで、同部が有する技術や築き上げてきた経験を生かし、将来のインドラグビー界をけん引する若手選手の育成とラグビーのすそ野拡大を通じた青少年の健全育成に挑戦していきます。

日本国内では、これからゴールデンスポーツイヤーズの到来を控えており、本事業はアジア地域のラグビー普及、レベルアップにも貢献できるものと考えております。

(2)連携案件概要

派遣国	インド
配属先	インドラグビー協会
派遣対象者	同志社大学体育会ラグビー部の学生・卒業生・教職員
連携期間	2019年3月29日から2024年3月31日まで
本事業の目的	① JICAが行うボランティア事業に大学の知見・人材を有効に活用し、インドにおけるラグビーの普及・振興ならびに青少年の健全な育成を図る。 ② 大学の国際協力分野における人材育成に資する。
活動概要（予定）	① -1：大学チームとの合同練習実施 -2：コーチ・レフリー講習会開催 -3：事故予防、事故対応に関する講習会開催 -4：指導計画立案の補助 ② -1：大会・試合運営の補助 -2：イベント・学校での体験プログラム実施 -3：参加者人口・チーム活動など各種調査 ③ -1：現地学校・コミュニティへの競技参加機会の創出 -2：参加者の意識、ニーズなどの各種調査 -3：広報活動

2. JICA海外協力隊（大学連携）とは？

連携に関する覚書を結んだ大学が、学生、院生、教職員をJICA海外協力隊のグループとして派遣し、大学の持つ専門的知見を活かしてJICA海外協力隊の活動をバックアップすることから、派遣先でのJICA海外協力隊の活動とその指導の成果が一層充実したものとなることを目指すものです。

※当機構と同志社大学の新たな取り組みについて、貴社媒体にて取材及び報道いただけましたら誠に幸甚です。お手数ですが、取材頂ける場合は、事前にJICA関西の山内・光畑までご連絡ください。併せて現地で駐車場利用の想定がございましたら、その旨もあわせてご連絡いただけますと幸いです。

【本件に関する問い合わせ先】

JICA 関西 市民参加協力課 山内・光畑 宛
TEL 078-261-0384 E-mail : Yamauchi.Akiyo@jica.go.jp
Mitsuhata-Kozue2@jica.go.jp